



井奥まさきの 市政報告NEWS

2002・4
No.15
春号

このNEWSは、無所属・市民派の高砂市議会議員井奥まさきによる市政レポートです。

行政・議会のあり方が、今年9月選挙の争点

高砂市会議員 井奥まさき

23年ぶりの暫定予算という事態を迎えた3月議会。そして国政を騒がせる「政治とカネ」「政治家の言動」の問題。今年9月の選挙はそれらが大きな争点となりそうです。
(関係記事は次ページ以降)

井奥まさきの財政公開

収入	
1-3月分報酬(月5万2000円)	156万6000円
期末手当	30万0150円
支出(1月~3月)	
所得税	11万1798円
議員共済	17万3100円
国民年金	3万9900円
国民保険	12万0000円
市県民税	10万1700円
一国会費	9000円
ともに市政を考える会活動費 (ニュース発行費、人件費、事務所費など)	46万0652円
借金返済、次回選挙費用積立	40万円
井奥まさき生活費・行動費 (15万×3ヶ月)	45万円

井奥まさき 議員活動日誌 全3回

その2 議員活動編

え 水野良太

生い立ち

1965年高砂町生まれ。36才。

父・育男(山陽電鉄勤務、現在退職)と、母・英子(幼稚園園長、現在退職)、妹・由紀子の4人家族で高砂市中島(今市自治会)で育つ。伊保小学校から淳心学院中・高等学校を経て岡山大学法学部へ。

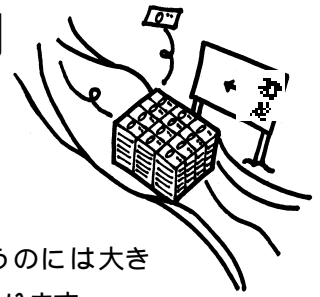


32才で
市議選
立候補

2056票8位で
当選



共同企画 23年ぶりの暫定予算 責任は行政の体制



今年の3月議会は23年ぶりの暫定予算となりました。暫定予算とは必要最小限の予算のみ計上するものです。新規事業は5月以降に審議予定の当初予算が通過してからということになります。

議会で審議したものの責任として、今回の経緯を有志の議員で共同して報告いたします。

行政の不手際が目立った審議 私たちは今回の事態になったのには3つの原因があると考えています。

いずれも行政側のミスです。

1つは、条例不備のため開会が2日遅れたこと。2つ目は、補正予算で原案訂正4件という異常な事態があったこと。3つ目は、組織としての横の連絡が機能しておらず、答弁調整のため行政側の要求で議会が何度も休憩したこと

これらが原因です。

職員との話し合いを

田村市長が決裂させる

また、このような事態になったのには、職員が完全にやる気を失っていることも大きいと思います。

私たちは常に職員組合へ厳しい注文をつけてきました。しかし、「交渉して成果を出す」というのと、「交渉を決裂させて相手を怒らせ

る」というのには大きな開きがあります。

田村市長は、人件費についての最終組合交渉の場で席を蹴って帰ってしまったそうです。これが職員の信頼と勤務意欲を失わせた大きな原因ではないでしょうか。

平成13年度決算見込を粉飾？

また、高砂市は財政的にも崖っぷちにたたされています。

3月補正予算の審議で明らかになったのですが、昨年度に続き今年度も赤字の予定です。

にも関わらず行政側は都合の良い数字を並べて「1300万の黒字」という誤った資料を出してきました。まさに粉飾決算とも言うべきものでした。

3月議会の流れ

2月23日 議会運営委員会でミス指摘され、開会2日遅れが決定

3月5日～13日

2日間の予定の質疑が大幅に遅れる
原案訂正4件や市の答弁調整による

3月14日～22日

委員会審議が遅れる。

主な原因は下水道の追加事業に関連して市の資料改竄

3月25日

当初予算の審議時間がなく、暫定予算となることを全会派で決定

3月31日

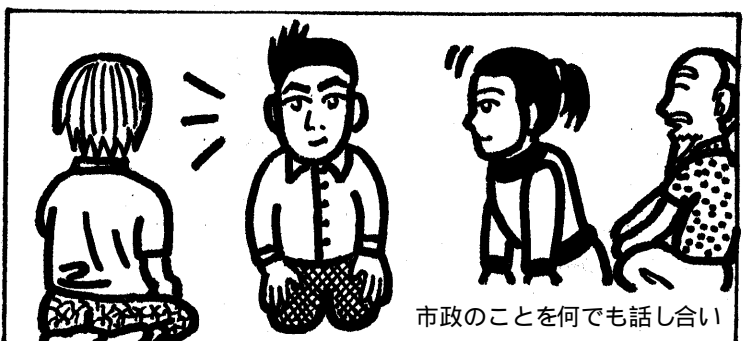
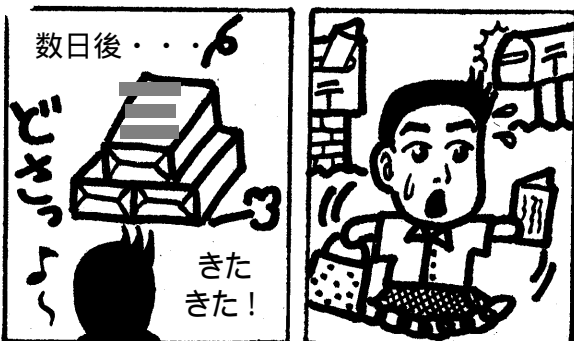
暫定予算が上程され、当初予算は撤回。31日深夜に暫定予算可決。

いつでも 井奥まさき議員活動

情報公開と市民参加を



市政報告ニュースを年4回発行し続けました
今回は第15号です。のべ20万部以上発行しました



全市を回って

市政報告会を通算30回以上開催しました

私たちの試算

決算歳入予想額 337億2000万円
 土地が売れなかった分
 5億4000万円など
 11億4700万の歳入減
 決算歳出予想額 343億2200万円
 予算の残りを集めた額
 約7億の歳出減
 最終決算予想額
 マイナス6億200万円

この6億円の赤字を埋めるために
 ・財政調整基金の取り崩し
 ・高齢者対策基金の
 長期繰り替え運用
 (事実上の取り崩し)

いきいきネット・政和会・無所属
 3月13日提出の合同作成資料より

その後、最終補正案で...

3月29日に提出された最終補正予算では、「高齢者対策福祉基金4億8000万円の長期繰替」が決定。

高砂市の主要な基金(貯金)は6月末にはすべて底をつく予定です。

私はこの財政破綻を招いた失敗を指摘、この補正予算案には「反対」しました

試算では6億円の赤字を予測
 私と政和会・無所属の三会派は資料を検討し、行政と同じ資料をもとにして「6億円の赤字、その赤字を財政調整基金や市庁舎基金、高齢者対策基金を取り崩して対処するしかないのでは」という議員側資料を作成しました。そして、3月13日の本議会で行政側に突きつけました。行政側からは反論がなく、その後の最終補正案は予想通りの展開でした。

さらに県からも3億円弱の借金までしています。

今や高砂市財政は破綻状態です。

費用削減こそ

ていねいな話し合いが必要
 行政側は「人件費抑制、他市なみの補助金制度が一番の財政対策」という説明をします。

しかし、単に削減するのではなく、何をどうやって削減するのが一番かんじんなところだと思います。そのためには苦しい財政をきちんと情報公開し、責任をはっきり認めること。その上で市民・職員とていねいな話し合いをすることが必要だと思います。

5月には再度当初予算を審議予定です。行政側の奮起に期待します。

私たちの提案する当初予算の改正案

1、人件費抑制は「痛みの配分」を考えて

総額4億円の削減は仕方ない部分がありますが、一律カットはいけません。

無駄な「参事」「主幹」の廃止/市長、助役をはじめ、部長以上の幹部は「経営責任」をとる意味で大幅な減俸を

2、新規事業は一旦凍結

「松村川EM菌撒布」「ぶらり高砂ラリー」等、本当に必要かどうかを検討すべき/国体の電光掲示板建設からは即時撤退を

3、既存事業の見直しでより効果のある事業へ

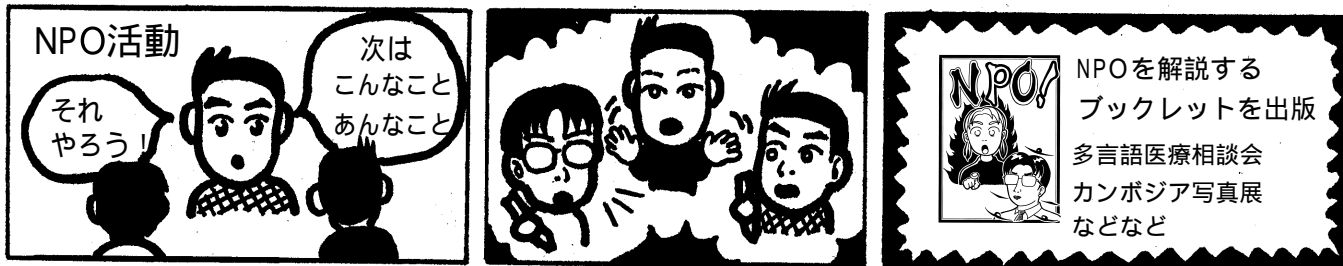
「今までやってきたから」ではなく、事業効果を検討すべし/公共事業談合問題、滞納問題へもさらに厳しい姿勢で

市政相談では一緒に悩み、解決に努力しました



井奥まさき議員活動

市民の目線で行動し、一緒に悩みました



議会のない日は一市民として
 NPO・ボランティア活動に取り組みました

これからもこうした姿勢で
 活動していきます

つづく

この間、私の知り合いでもある辻元清美さんの秘書問題も起こり、「政治とカネ」「政治家の言動」が市民の関心を集めました。

その1

議員は背筋を正せるか？



坂牛八洲議員に辞職勧告決議 可決

賛成 13(井奥・野村・西野・入江・北野・加古・橋爪・橋本・小林・松本・今竹・小松・増田)

不採択 13(萬山・三枝・岡本・木村・池本・秋田・北・宮本・原・横山・船田・岡田・近藤)

可否同数により生嶋議長の決により可決

坂牛氏は1)社会福祉法人理事長の立場で市の委託事業を受けた2)自身の団体に寄付をおこない、寄付金控除を受けた3)建築基準法違反の建物で保育を行うといった点が問題とされ、政治倫理委員会で審査してそれらの実態が報告されました。

政和会の議員から辞職勧告決議案が出され、議論の末可決されました。私は「議員として背筋を正す」意味から賛成しました。

しかし、この決議自体は法的拘束力がないため、本人は「市民の判断を待ちたい」として、議員を続けています。

辻元清美問題について

才能のある人で非常に残念ですが、雑誌発売直後の記者会見で事実と違う発言をしたことが命取りになりました。しかし、悩みながらも最終的に「辞任」という決断をしたことを評価したいと思います。ぜひ復活を期待したいと思います。

議員・行政のあり方についてぜひ市民が判断を

暫定予算をきっかけに「議会改革」の議論が行われています。1面の議員の発言回数は、各市で「市政ウォッチング」をしている団体の協力をいただきました。

4月10日に「質疑は同一議題3回まで」という改正が通過しましたが、本当の意味での議会改革とはほど遠いと思います。(議事録が整理できた時点で臨時号を発行して報告します)

その2「竜山中学校事件」は終わらない...

部活中に生徒が意識不明となり、教諭の暴行事件と判明した「竜山中学校事件」。高砂市は1億6000万円の賠償金を支払いました。しかし、その後も全国誌フライデーに掲載され、インターネット上でも全国から厳しい意見が寄せられています。

フライデー(2002年3月8日号)では、田村市長は「A教諭の処分と再発防止策は県教委が考えるだろう。税金を使うことについて、市民の理解は得ている。市長の責任?この件は、オレが就任する前に起こったものだ!」とコメントしたと書かれています。4月11日現在、当該教諭への市からの損害賠償請求は行われていません。教育長の虚偽答弁問題もあわせ、4月17日の全員協議会で議論される予定です。

井奥まさき日誌(抄)

- 1月
- 1日 元朝式 いきいき街宣
- 11日 虹と緑 オープンテキスト政策会議
- 14日 成人式 いきいき街宣
- 15日 議会だより編集委員会
- 18日 兵庫県議員ネット(情報公開)



- 2月
- 1日 2月臨時議会(~7日)
- 2日、3日 虹と緑の500人リスト
研究会(大阪)
- 4日 質疑
- 5日、6日 総務常任委員会
- 7日 最終日
討論採決、諸報告、坂牛議員への辞職勧告決議
- 9日 いきいきフォーラム(議会)
- 10日 市政報告会(アーバンコンフォート、事務所)
- 11日 兵庫県議員ネット(予算審議について)
- 15日 議会だより編集委員会
- 16日 まちづくり協議会
- 23日 市政勉強会(中央公民館)
- 25日 議会運営委員会 傍聴
- 27日 3月議会(~3月31日)

- 3月
- 1, 2日 議案熟読
- 5日~8日、11日~13日 議案質疑
- 14日、15日、18日~20日、22日 委員会
- 22日 虹と緑 関西研究会準備会(尼崎)
- 25日 補正予算 討論採決
- 26日、27日 質疑(条例)
- 28日 代表者会議
- 29日 議会運営委員会
- 31日 最終日 討論採決、陳情・請願採決

議会を傍聴しませんか?どなたでも傍聴できます。手続きはカンタンです。入り口で名前を書けば、どなたでも傍聴できます。

日程は議会事務局43-9051までお問い合わせ下さい。次の議会は5月に開会予定です。また、モニターテレビもカラーになりました。市庁舎内のテレビで見ることができます。

正式会派

いきいきネット結成

松本議員と3月議会の途中で会派を結成いたしました。思想信条は異なりますが、「高砂市を変える」「数の大小ではなく、民主的な議会運営」という点で一致して結成しました。

市政にこんなことを望みたい!

これはどうなっているの?

市政・市民相談受けつけます

TEL 0794-44-2343

FAX 44-2418

e-mail:ioku3@hotmail.com

あなたの近くでも市政報告会を企画して下さい。何人でも結構です。市内どこでもかけつけます。